



Shinjuku Yamabuki 2020

多様な未来に対応する情報技術者の育成

昼夜間定時制情報科における単位制・無学年制を活かした情報技術者育成プログラム

これからの情報社会

目まぐるしく変化してきた情報社会、その変化は加速度的になり、さらに技術やサービスは多様化していく。このような情報社会では未来を見据え、多様な情報技術に対応できるプロフェッショナルを育てる必要がある。

多様な未来に対応する情報技術者の3要素

- ① 使命と情熱を持った情報のプロフェッショナル
- ② 確かな技術力を持った情報のプロフェッショナル
- ③ 問題解決能力を持った情報のプロフェッショナル

単位制・無学年制を活かした教育課程の提案

- 多岐にわたる情報分野に対応するため、専門教科情報の全科目+新学習指導要領を見据えた学校設定科目を設置。共通教科においても上位科目まで幅広く設置、情報分野だけに収まらない力を身に付けることができる。
- 年度ごとに学習する科目を選択できる。
- システム分野とコンテンツ分野、共通教科から、必要な知識や技術をカスタマイズできる。

多様な未来に対応する情報技術者を育てる5つの刺激

- ① 企業からの刺激：SEによる講演会、企業訪問、企業と共同研究した教材、女性技術者講演会
- ② 高等教育機関からの刺激：大学教授による授業、研究室訪問、大学と共同研究した教材
- ③ 地域からの刺激：小中学生への授業、地域商店街のデザイン
- ④ 資格による刺激：ITパスポート、基本情報技術者、応用情報技術者など
- ⑤ 競技会・コンテストによる刺激：プログラミング競技会、デザインコンクール、全国大会での発表、他校との交流

5つの刺激を実現する多彩な連携先

- ◇ IT関連企業
- ◇ 大学
- ◇ 専門学校
- ◇ 地域商店会
- ◇ 地域小・中学校
- ◇ その他

多様な未来に対応する情報技術者へと導く山吹ポートフォリオ

